

Weekly Bulletin 2012-2013



RI会長
田中作次



奉仕を通じて平和を

静岡東ロータリークラブ

会長 / 戸塚敦雄 幹事 / 杉田至弘

事務局 / 静岡市葵区伝馬町9-3 芝田ビル3F TEL054-254-5611
例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
戸塚敦雄

第 2622 回例会

平成 25 年 6 月 6 日 天候 曇り

《司 会》 杉田至弘 君

《合 唱》 「君が代」
「奉仕の理想」

《BGM》 ラ・カンパネラ
イングリット・フジコ・ヘミング

《ゲスト》 公益財団法人
静岡舞台芸術センター(S P A C)
芸術総監督 宮城 聡氏

《ピジター》 芹沢正明(御殿場 RC)
鈴木 礁(静岡 RC)

《本日のお祝い》

お誕生日	結婚記念日
6月6日 森下登志美 君	6月7日 土山博英 君
6月6日 大角普朗 君	6月10日 小山宏之 君
6月7日 木津 誠 君	

《会長挨拶》

まず先ほど開かれた理事会の報告をさせていただきます。

私からは、先週の金曜日に開催された LTM(規定審議会の報告会)について、そして 25 日(土)の次年度会長・幹事会で井上龍郎アシスタントガバナーから説明された青少年交換事業補助金制度の新設について、理事・役員の方々に説明させていただきました。

今日は、時間の関係もあり、LTM にかかる規定の変更点について説明させていただきます。

LTM では牧田パストガバナーから規定審議会における変更点とそのポイントが説明されました。付議された案件は 200 件にも及びますが、採択されたものは 59 件で、そのうち標準ロータリー定款の変更に関わるものは 16 件と思われます。

主だったものだけ申し上げますと、①幹事を理事会メンバーと規定(定款 10-4) ②同一クラブへの再入会

の入会金を免除(定款 11) ③メイクアップを含み例会出席率 50%以下、本クラブの例会総数の出席率 30%以下で会員身分を終結することができる shall→may に変更(定款 12-4a) ④病気による欠席は理事会で 12 ヶ月以上認め、出席率の計算に含まない(定款 9-3) ⑤出席免除の 65 歳以上の年齢制限を廃止(定款 9-3b) ⑥出席した理事会メンバーの 3分の2を下らない賛成投票で会員身分を終結できる(定款 12-5) ⑦元会員や移籍会員は元のクラブより推薦を受けることが条件(定款 7-4) ⑧元のクラブに負債を負っていないことの証明期限 30 日(定款 7-4) ⑨新世代奉仕を青少年奉仕に名称変更(定款 5) などです。これらについてクラブ定款の変更が必要になると思われます。

さて、今月は「親睦活動月間」です。復習も含めて親睦活動要覧に目を通すと次のようなことが書かれています。

ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに、1928 年に非公式に始まりました。ロータリー親睦活動の範囲は月日を経て変化してきましたが、今日でも変わらぬその目的は、友好の下にロータリアンを結び付け、各々が楽しみとするレクリエーションまたは職業的活動の場を提供することです。

6月の「ロータリー親睦活動月間」は、親睦活動への参加及びこのプログラムに対する理解を促進するため、RI 理事会によって指定されたものです。戸塚年度最後の 1 ヶ月です。今月もよろしく願います。

《来賓卓話》

公益財団法人
静岡舞台芸術センター(S P A C)
芸術総監督 宮城 聡氏

「演劇、最も古くて最も新しい芸術」

現代演劇を見る文化が定着している地域はパリやロンドン、ニューヨークといった大都市で、見る人は自



分の趣味として見る
ことができる余裕の
ある方が中心です。
しかし私は、そうい
った地域以外や見る
余裕のない方にも
自分と世界をつなぐ
場として見ていただ

きたいと考えています。特に最近の若い世代は、この社会や世界の中で、自分の立ち位置や存在意義を見失っている方が多いと感じているからです。この世代はある意味、孤独に追いやられている世代であるともいえます。この様な中高生世代が演劇を見ることによって世界とのつながりを体感してもらって、自分の立ち位置を見つけてもらいたいと考えています。現在、静岡県内では約3万4000人の中高生がいますが、その内、1万7000人の中高生にSPACの演劇を見てもらっています。静岡県内の全ての中高生が、在学中に演劇を鑑賞できることを目標に、今後も中高生の招待を継続していきます。

私になぜ、この世代が世界との繋がりを喪失していると感じているかと言うと、この世代は共通して「失敗を恐れている」、「一度、失敗すると二度と立ち上がれない」と感じていると思うからです。我々の世代は社会が高度成長であったこともありますが、成功するためには失敗を恐れていなかったと思うのです。また失敗することで、更なる成功を勝ち取る人が周囲にたくさんいました。ところが、現在の中高生世代の周囲には、社会の成熟もあり、失敗をしないで、そこそこ成功している人が多く。成功を求めるのではなく、失敗しないことを求める風潮が強くなっていると思います。そして、受験や就職などでも一度失敗すると全てが終わりと感じているのだと思います。この状況は、この世代個々人の人生の幅を縮めていると思うのです。どんな失敗をしても、それで終わりではなく、自分と世界は繋がり続けており、孤独を感じる必要はないことを演劇を通して感じて欲しいのです。

「KY」と言う言葉があります。まわりの空気が読めないと言う意味ですが、我々の世代では考えられない事態になっています。学校毎で演劇に招待するのですが、ガヤガヤうるさい学校やシーンと静かな学校と色々あります。ところがよく見ると、ほんとうにビックリするのですが、うるさい学校は「全員」うるさいのです。静かな学校は「全員」私語ひとつしないのです。混在した学校が無いのです。これは、学校の特徴でなく、まわりに合わせる能力が器用に発達し、無意識の行動として周囲に合わせているだけなのです。そして全員の特徴は、相手の目を覗き込んで話さないことです。目が合うと無意識に目を逸らすのです。

これは、ある意味恐ろしい事態です。常にまわりに合わせているだけで自分を出さない。自分も相手に干渉しないかわりに、だれも自分に干渉してくれない。この状態が続くと、本当の自分を知っている人はだれもいない。更に自分ですら本当の自分がわからなくなるという極めて孤独な状態を意味するのです。

少子化時代では、社会の風潮として教育分野におい

ても、あたかも顧客サービスのごとく手を差し伸べる風潮が定着していることに原因があると思うのです。そうして育った子供の周囲には、楽しいもの、嫌のもの、悲しいもの、嬉しいもの、腹が立つものとデジタルに判りやすいものが満ち溢れているのです。芸術はまったく逆です。わかりやすいものはひとつもなく答えのないものをテーマに表現するものですから、見たひとりひとり異なった答えが生まれるのです。そして正解は存在しないのです。従って、本当に優れた芸術に接して意味を考えると「人間はわからないもの」に行き着くと思います。また同時に「人間同士が理解しあうことは、いかに難しいか」という感想を持つと思います。

私の活動は、今の若い人たちに、演劇を通して「答えが出ない」「わからない」という状態を我慢する忍耐力を育てていきたいと考えているのです。つまり、わからない状態でだれも手を差しのべてくれないけれど自分なりに考える力を育ていきたいのです。そしてこの力があれば、どんな時でも孤独に陥らず、自分と世界の繋げる橋を維持できると思うのです。そして富士山のように高い頂きを維持しながら裾野を広げていきたいと思っています。いつか世界で活躍する芸術家の半分は「静岡」出身で占めることが夢であります。

《スマイル報告》

戸塚 敦雄 君 本日は、ウイスコンシン州のキッコーマン工場にて「日米食品流通シンポジウム」に参加しています。高柳副会長、杉田幹事、新聞副幹事に感謝してスマイル致します。

杉本 幸子 君 「ふじのくに台せかい演劇祭2013」でご多忙の真ただ中を、宮城聴芸術総監督に卓話で貴重なお話をさせていただいたことに感謝してスマイルします。

大角 普朗 君 誕生日のお祝いありがとうございます。52歳になりました。今後ともよろしく願いいたします。

森下登志美 君 誕生日のお祝いありがとうございます。今年で49歳、いよいよ花の50代が目前になりました。お誕生日がご一緒の大角さんや同じ歳の木津さんとますます元気を出していきますので、今後ともよろしく願いします。

木津 誠 君 誕生日のお祝いありがとうございます。今年49歳になりました。老眼も自覚するようになり、つくづく年齢を意識するようになりました。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
6/6	58(55)	48	7	-	-	-
5/30	58(56)	40	16	-	-	-
5/23	58(54)	46	8	2	6	88.89%